

3 報告

(1) 総務経済委員会報告

「大山湖畔公園について」

委員長 小泉輝忠



地域資源を活かしたまちづくり

大山湖畔公園について
(鹿島海軍航空隊跡地)

大山湖畔公園

(鹿島海軍航空隊跡地)

(東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地)



全体図



大山湖畔公園（鹿島海軍航空隊跡地）の経緯

年 月	事 項
H27年10月	財務省関東財務局が美浦村に時価売却することを決定
H28年08月	財務省関東財務局と売買契約
H28年10月	登記完了
H29年03月	跡地活用基本構想策定
H29年12月	跡地活用に向けた住民ニーズ調査報告
H31年03月	跡地内覧会に伴う跡地活用報告書
R03年03月	跡地基礎調査報告書
R03年06月	初代地域おこし協力隊員着任
	週末カフェオープン
R03年07月	跡地活用協議（エリア計画）
R03年12月	大山湖畔公園の設置及び管理に関する条例制定
R04年03月	大山湖畔公園の運営及び管理に係る指定管理者の選定
R03年06月	二代目地域おこし協力隊員着任
R03年08月	大山湖畔公園の活用に向けたクラウドファンディングの実施

鹿島海軍航空隊跡地基礎調査報告

調査目的 今後の鹿島海軍航空隊跡地の保存・活用
調査主体 美浦村役場企画財政課
調査指導 筑波大学人文社会系教授 伊藤純郎 氏
調査担当 株式会社パスコ
調査期間 令和2年11月12日～令和3年3月31日



- ・建造物の歴史的価値は高いが、建造情報等が不明のため、設計や改修取り壊しにおいては再度の調査が不可欠である。
- ・戦争遺跡としてダークツーリズムの視点や平和教育の取り組みなど戦争遺産と向き合った整備・活用に取り組むべきである。
- ・文化財として指定・登録する場合、国や県としての統一見解がないため村の歴史的評価と文化財としての価値づけが課題である。
- ・跡地の保存と活用、文化財指定は財源の確保も含め、村が早急に取り組むべき課題である。

跡地活用エリアの線引き

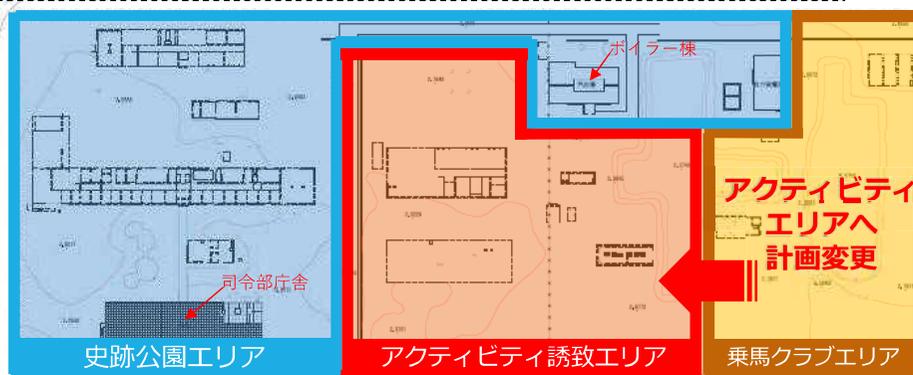
史跡公園エリア 18,000㎡程度

- ・残存する建物、構築物及び基礎遺構をそのままの状態とし「国内随一の希少な戦争遺跡群公園」を整備
 - ・週末カフェエリアを含めて映画等ロケを誘致
 - ・茨城県等と連携して戦跡ツアーやロケ地ツアーなどのイベント実施
- ※エリア内の安全及び建物等が劣化しないよう対策を講じたうえで一般開放
 ※安全対策など公園整備費用はガバメントクラウドファンディング等の活用を検討

※国内随一の希少な戦争遺跡群公園構想

鹿島海軍航空隊跡地の戦争遺跡としての最大の魅力・希少性は、航空隊が存在した景観（遺構群）がそのまま残されている場所であること。

- 1 戦争を知らない世代が違う目的（乗馬・サイクリング・釣り・カフェ）で立ち寄り、そこに広がる不思議な光景に身を置くことで、戦争を身近に感じ、個人個人が当時を想起し、考えるきっかけを提供することができる場所にしたい
- 2 村固有の歴史資源への愛着醸成や地域の歴史を次世代に伝えていくため、学校の平和学習や生涯学習において、村民が学習できる場所にしたい



アクティビティ誘致エリア 15,000㎡程度

- ・民間企業等のアクティビティ事業を誘致
 - ・残存する構築物及び基礎遺構は原則解体撤去
- ※立地企業等と土地賃貸借契約を締結
 ※賃料収入は史跡公園エリアの管理運営費に充当

乗馬クラブエリア 10,000㎡程度

- ・引退競走馬を活用した民間運営の乗馬クラブを誘致
 - ・残存する構築物及び基礎遺構は原則解体撤去
- ※立地企業等と土地賃貸借契約を締結
 ※賃料収入は史跡公園エリアの管理運営費に充当

週末カフェエリア

週末カフェエリア

- ・地域おこし協力隊の活動拠点（美浦村週末カフェ（期間：令和6年5月まで））
- ・残存する建物、構築物及び基礎遺構はそのまま活用
- ・茨城県やその他関係団体等と連携して、サイクリストや釣り人向けのイベントを開催
- ・史跡公園エリアを含めて映画等のロケを誘致

開設費用や立地条件など、様々な面で折り合いがつかず、民間事業者が撤退。乗馬クラブエリアの計画は中止に

大山湖畔公園の設置及び管理に関する条例制定

一部エリアの指定管理による管理を目指し、大山湖畔公園として
設置及び管理を条例で制定
施行日 令和4年4月1日

条例概要

- (行為の許可) 第6条関係・・・公園において、物品販売、映画の撮影等を行う場合は村長の許可を受けなければならない。
- (行為の禁止) 第7条関係・・・公園の損傷又は汚損、植物の採取、鳥獣類の捕獲その他、管理に支障がある行為をしてはならない。
- (入館料) 第9条関係・・・公園内の建築物に入館しようとする者は、入館料を納付しなければならない。
- (指定管理者が行う業務の範囲)
第14条関係・・・公園の管理、運営は指定管理者が行う業務とする。

指定管理者の選定

大山湖畔公園の管理運営について令和4年2月に募集し、候補者選定委員会において審査した結果、（株）プロジェクト茨城を指定管理者に選定

- 指定管理者 茨城県笠間市笠間2732番地5
株式会社 プロジェクト茨城 代表取締役 金澤大介
- 事業内容 公共施設の管理、運営
フィルムコミッション活動（映像制作・制作支援）
- 管理実績 筑波海軍航空隊記念館（笠間市）
笠間市地域交流センター「トモア」
かさま歴史交流館「井筒屋」
映画「桜田門外ノ変」オープンロケセット（水戸市）



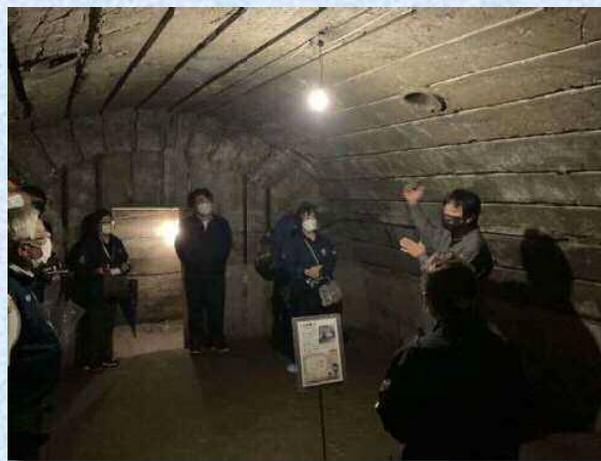
筑波海軍航空隊記念館（笠間市）

住 所 笠間市旭町654

料 金 大人 500円 小人300円

開館時間 9：00～17：00（火曜休館）

昭和13年に建てられた司令部庁舎をはじめ、滑走路や地下戦闘指揮所など、これらの史跡群や資料を活用し、戦争に関する記録の収集・保存・公開を行っている。



クラウドファンディングを実施

心霊マニアなどの不法侵入が後を絶たず、敷地内外が荒れ、施設の存続が危惧される状況になっていた鹿島海軍航空隊跡地を歴史的文化遺産として後世に残すために、クラウドファンディングを実施 (株)プロジェクト茨城

目標額・・・5,000,000円

期 間・・・令和4年9月30日まで

成 立

支援総額 **9,650,000円**

- アトラクション基本構想
- 事務所の設営
- 売店の設営
- 清掃・整備
- 展示計画 などに活用



2023年、
鹿島海軍航空隊跡地、一般公開へ。

茨城県の霞ヶ浦の南側湖岸にある美浦村には、かつて「鹿島海軍航空隊」がありました。しかし、現在その跡地は廃墟と化し、朽ちつつあるのが現状です。

国内有数の戦争史跡群と湖畔の豊かな自然が織りなす景観を、未来へと継承するために、保存と公開に向けたプロジェクトが始動しました！

目指すは2023年初頭の一般公開の実現。史跡群の未来が、”今”皆様のご支援によって決まります。時の止まった海軍基地ではじまる、戦争史跡を未来へ遺すプロジェクト。どうか皆様からのご支援をお待ちしております。

廃墟となっている村所有財産を利活用し一大観光拠点へ

美浦村に残る旧海軍の遺構群



サブカルチャー



筑波海軍航空隊記念館

歴史観光

廃墟ツーリズムの裾野の広がり



幌内炭鉱自然公園



長崎県軍艦島

平和教育

体験・参加型の平和教育カリキュラム



筑波海軍航空隊記念館



原爆ドーム

その場所や施設が持つ歴史的な重要性や意味が、多目的に活用され、人々によって発見され、外部へと発信される

県内観光周遊の新たな資源へ

(株) プロジェクト茨城提供

廃墟を活用したツーリズム開発の参考類例

長崎県「軍艦島」(端島)



明治初中期に採炭にともない開発された人工島。1974年閉山。現在は廃墟の無人島として海上に屹立する。



軍艦島クルーズ



宿泊施設 Alega 軍艦島



軍艦島デジタルミュージアム

2009年4月の上陸解禁以来、年々増加の一途をたどっており、軍艦島で撮影したヒット映画や廃墟ツアー人気の影響もあって2016年3月で累計75万人を突破

兵庫県「旧摩耶観光ホテル」



神戸市灘区の摩耶山中腹で営業していたホテル。1930年に完成し、1990年代に閉鎖された。



摩耶山・マヤ遺跡ガイドウォーク



文化財登録記念乗車券

2017年廃墟としては日本で初めて国の登録有形文化財に指定。摩耶山再生の会が月1~2回のペースで「摩耶山・マヤ遺跡ガイドウォーク」(4,000円+まやビューライン乗車料大人1230円、定員20名)を開催。全国よりファンを集め人気を博している。

(株) プロジェクト茨城提供

広域史跡群体験 地域に果たす観光周遊の起点として

県内で戦争を後世へ伝える遺構施設との連携により、記憶を次代へ語り継ぐ役割を担う

阿見町「予科練平和記念館」



美浦村「鹿島海軍航空隊跡地」



笠間市「筑波海軍航空隊記念館」



茨城県内
↓
全国へ

村町市の観光地・グルメスポットと積極的な連携を図り、更なる地域間交流のハブとなる

エリア観光

観光物産

地域振興

インバウンド

(株) プロジェクト茨城提供

ロケ地としての需要

旧軍の遺構をそのままに撮影できる
ロケ地としての活用

茨城県商工労働観光部フィルムコミッション推進室/
県内各市町村フィルムコミッションとの連携



宿泊/ 飲食等経済効果

知名度向上

ロケツーリズム効果



新たな観光需要を生み出す

特産品販売、飲食需要
記念グッズ、お土産の製作

(株) プロジェクト茨城提供

美浦フィルムコミッション

映画・テレビ番組・CM等の撮影
に撮影の支援やロケ地の情報提供

鹿島海軍航空隊跡地で撮影した主な作品

映画	ラーゲリより愛をこめて
ドラマ	金田一少年の事件簿
ドラマ	仮面ライダーブラックサン
バラエティ	ニンゲン観察モニタリング
バラエティ	THE突破ファイル
映画	新妖怪大戦争
映画	大怪獣のあとしまつ
映画	映像研には手を出すな などなど



地域おこし協力隊 週末カフェ

初代地域おこし協力隊が運営する「美浦村週末カフェ」が令和3年6月にオープン！
令和4年6月からは2代目地域おこし協力隊員も加わり、さらに活性化！

令和3年度実績

6月	860名
7月	1,118名
8月	360名
9月	休業
10月	892名
11月	970名
12月	636名
1～3月は冬季休業	



初代地域おこし協力隊
「村川勇介・栄子夫妻」



二代目地域おこし協力隊
「桂 典久」さん



1

美浦村週末カフェの様子



2

3

menu

- ① うずみ豆腐
- ② 肉厚ジャンボマッシュルームフライ
- ③ もつカレーライス

今後の展望・課題

- アクティビティ誘致エリアなどの活用
- 不法侵入者対策
- 集客手段の確立及び利用マナーの向上